



Hi FIL™ LUTEIN

ハイフィル



Omnipotence in Natural Herbs

株式会社 オムニカ

東京都文京区小石川 1-15-17 5F
Tel 03-5840-9811 Fax 03-5840-9812

オムニカの
機能性表示食品向け原料



Hi FIL™ LUTEIN
ハイフィル

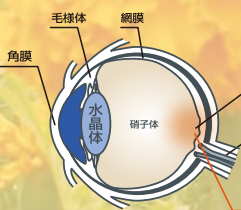
高純度ルテインのみ、
安全性と有効性を満たす
科学的データを備えています。

ルテインとは

ルテインは、600種以上知られている
カロテノイドのうちの一つです。

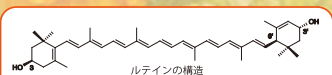
ルテインは体内で生成できない成分
であるため、食事を通して継続的に
摂取する事が重要とされています。
Hi FILは多くのルテインが含まれて
いる、マリーゴールドの花弁より抽出
しております。

ルテイン ——— 光刺激を遮断



眼の水晶体及び黄斑部にはルテインが含まれます。ルテインの経口摂取による補充は、眼の健康に重要です。

黄斑部(中心窩)



眼球内に存在する限られたカロテノイド

届出表示例

配合量6~20mg/日*	配合量12~20mg/日*
本品にはルテインが含まれています。ルテインには黄斑色素光学密度を保ち、光の刺激から眼を保護する作用があることが報告されています。	本品にはルテインが含まれています。ルテインには眼の視認性を改善する作用があることが報告されています。

*配合量はルテインとして。

ルテイン 研究レビュー -1-

機能性関与成分マリーゴールド色素由来の高純度ルテイン摂取による黄斑色素光学密度(MPOD)に対する機能性



文献データベースを検索して得た9件の成年健常人を対象とした無作為化比較試験(RCT)において、1日あたり6-20mgのルテインを1カ月以上継続摂取することによりルテインの血中濃度が有意に上昇した。また、その血中濃度を3か月以上維持することにより黄斑色素光学密度(MPOD)も上昇することが示唆された。

ルテイン 研究レビュー -2-

機能性関与成分マリーゴールド色素由来の高純度ルテイン摂取によるコントラスト感度およびグレア感度に対する機能性



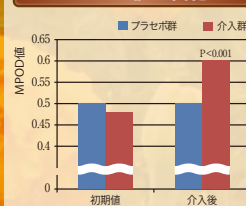
■コントラスト感度低下
見たい部分が不鮮明に見えます。

文献データベースを検索して得た2件の成年健常人を対象とした無作為化比較試験(RCT)において、1日あたり12-20mgのルテインを3か月以上継続摂取することにより視機能の指標であるコントラスト感度やグレア感度が改善あるいは改善する傾向を示した。

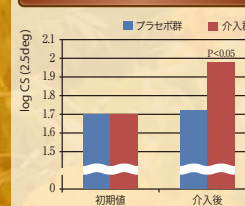
ヒト臨床試験

グラフはYaoらの報告の一部をグラフ化したものです(Nutrition2013;29:958-64)。25歳から47歳の健康な男女120名を対象にして、ルテイン20mg摂取におけるプラセボ対照無作為化二重盲験比較試験を行った結果、ルテイン20mgを1年間摂取することにより、黄斑色素光学密度(MPOD)値がプラセボ群と比較して有意に上昇し、コントラスト感度やグレア感度も有意に改善することが示されました。また、自覚的評価でも視機能の改善が認められています。

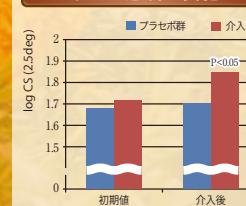
MPOD値の変化



コントラスト感度の変化



グレア感度の変化



ルテイン安全性評価

第63回JOINT FAO/WHO EXPERT COMMITTEE ON FOOD ADDITIVES(JECFA, 2004.6)において、ヒトにおける食物からの摂取あるいは臨床試験や動物を用いた試験の結果などから、マリーゴールド由来のルテインの1日摂取許容量(ADI)は、Hi-Fil20の成分組成規格*と同一であることを前提として体重あたり0-2mg/kg(体重50kgの場合で最大100mg)と評価された。

*総カロテノイドとして80%以上かつ遊離体ルテインとして70%以上を含有し、セアキサンチン含有量は9%未満)

製品規格

商 品 名	ルテイン Hi-Fil20
名 称	マリーゴールド色素製材
規 格	1 : 純度 (ルテイン結晶中) 総カロテノイドとして : 80% 以上 ルテインとして : 70% 以上 (78% 未満) ゼアキサンチンとして : 2% 以上 (9% 未満) 口ウ分として : 14% 未満 遊離脂肪酸として : 1% 未満 2 : 含有量 (懸濁ルテイン中) ルテイン (フリー体換算) > 20.0%
推奨摂取量	60mg~100mg/日
表 示 例	マリーゴールド色素